

問題解決学習におけるテキストマイニングの実践

東京都立町田高等学校 小原 格

1. 目的

・問題解決における「情報の分析」ツールの1つとして「テキストマイニング」を体験させるとともに、授業への有効性を探る

2. 実践

- ・2クラス
(1クラスは個人、1クラスはグループ)
- ・2時間
(1時間目:分析の説明とソフトの使い方
2時間目:課題制作とグループ内発表)
- ・最低限の使い方と結果の見方のみ教える
(語句の数とコレスポンス分析図)
- ・問題発見と理由付けの道具として用いる

3. 結果

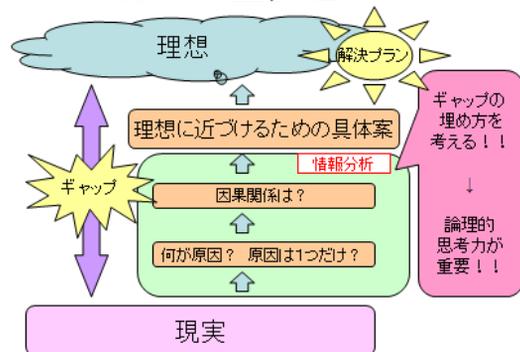
授業は興味深かったですか？	個	グ
とても興味深かった	11	16
まあ興味深かった	26	21
あまり興味がわかなかった	3	2
全く興味がわかなかった	0	0

授業はわかりやすかったですか？	個	グ
わかりやすい	8	12
まあわかりやすい	13	13
少し難しい	19	11
とても難しい	0	3

4. まとめと考察

- ・「体験」としては良い教材。興味ある分析の道具として、あくまでも問題解決の一環とする方が良さそう
- ・本格的に指導するにはデータ数との関係などある程度の統計的な知識が不可欠
- ・自分たちのアンケート結果を分析するのも良いが、アンケートの設計が非常に重要になる。良いサンプルのもとにテキストマイニングでできることを体験させるのが良い。

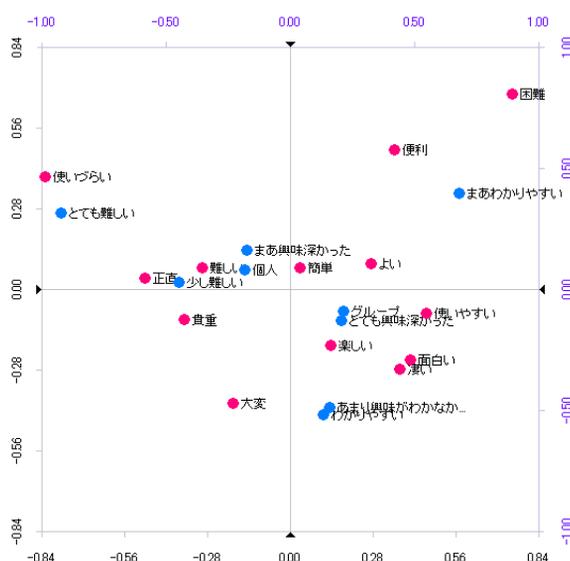
分析の重要性



課題

あなたは携帯電話会社の企画担当チームです。どのような携帯電話(や販売のしくみ等)を開発すれば、より多くの人に受け入れられるかを具体的に考え、その根拠となる分析結果を2つ以上明示してスライドを作成し、1分間でプレゼンテーションを行って下さい。

ポイント:
「なぜ、そうすれば受け入れられるのか」という理由を、違う分析方法の結果で示すと、説得力がある!!
「論理の飛躍」に注意!!



謝辞: 本研究にあたり、テキスト分析システム「MiningAssistant(ジャストシステム)」を利用して頂きました。ここに御礼申し上げます。